

会議録

会議の名称	西東京市教育計画策定懇談会（第14回）
開催日時	平成26年2月13日（木曜日） 午後3時から午後5時まで
開催場所	住吉会館 研修室1・2
出席者	出席委員：羽豆座長、須永副座長、佐々木委員、堀内委員、高野委員、渡辺委員、西原委員、鈴木委員、橋本委員 事務局：櫻井教育部長兼教育部特命担当部長、飯島教育部参与、坂本教育企画課長、宮坂学校運営課長、清水教育指導課長、内田統括指導主事、渡部教育支援課長、田中公民館長、奈良図書館長、大平主幹（公民館）、早川教育企画課長補佐、倉本企画調整係長 欠席委員：藤田委員、松村委員、西嶋委員、宮田委員 傍聴人：なし
議題	1 会議録の確認 2 次期教育計画パブリックコメントについて 3 次期教育計画素案について 4 その他
会議資料の名称	資料1 西東京市教育計画策定懇談会第13回会議録（案） 資料2 パブリックコメントの内容及び市教育委員会の検討結果 西東京市教育計画（平成26年度～平成30年度） 資料3 次期教育計画（素案） 資料4 次期教育計画修正箇所一覧
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>開会</p> <p>○事務局： 欠席者の報告、資料の確認</p> <p>議題1 会議録の確認 第13回西東京市教育計画策定懇談会の議事録について、修正等の確認（修正なしで承認）</p> <p>議題2 次期教育計画パブリックコメントについて 事務局： パブリックコメントの内容及び市教育委員会の検討結果（資料2）について修正報告。委員より事務局の修正が承認された。</p>	

議題3 次期教育計画素案について

事務局：
資料3、4 説明

○羽豆座長：
素案について、意見があればお願いしたい。

○鈴木委員：
第3章1 (1) 現状と課題の3段落目の「分かる授業を作っていくのは～」だが、ここだけ「分かる」が漢字になっている。平仮名でいいのではないか。

○羽豆座長：
漢字か平仮名のどちらかに統一したほうがいいだろう。

○事務局：
東京都の表記に基づいて作成しているが、教育計画の用語については、他の文章も確認して修正したい。

渡辺委員：
第3章2 (3) 現状・課題の二つ目の「総合的な人間力を備えた魅力ある人物を確保していくことが大切です。」という一文だが、「人材を確保」とするほうが適切ではないだろうか。

○事務局：
第13回策定懇談会での意見を受け、「熱意と使命感を持ち」として計画書本文に主旨を生かすことにしている。「人材」とすると即物的な印象を受けることもあるため「人物」とした。「人材」が適切であれば修正したい。

橋本委員：
「確保」を変更してはどうか。

○事務局：
「魅力ある人物の育成」などの言葉ではどうだろうか。確保とすると、一定条件を備えた人を精選して留めておくことが必要になる。

○須永副座長：
「確保」というと「人材」を連想する。一般的には人材確保などと使われている。「人物」として命を吹き込んでいる形だと思うので、事務局で検討していただければいいと思う。

○羽豆座長：
教育審議会の答申などには「確保」という言葉が出てくる。

○事務局：

「人材を確保」という言い方もあるが、第3章2(3)2では「次代を担う人材の育成」としている。人材確保は東京都が行うことだが、育成は市の任務だ。市の任務という意味では「人材の育成」が主旨に合っていると思うがいかがか。

○渡辺委員：

教員としては「人物」が適切だと思う。西東京市に採用される人はすべて東京都から配置されるのであれば、制度的に西東京市のできることは育成しかないだろう。しかし結果的に人材を確保するために、西東京市教育委員会が方策として実施できる可能性のあるもの、今実施できているものなども含めて、育成以外の方策も示す言葉が入れば、広がりが出ていいと思う。都教育委員会では公募制度も行っていて、区や市の教育委員会が提示する条件の人を公募する仕組みがある。

○事務局：

採用の基本的所管は東京都だが、人事異動等については、都に内申し承認を得ることになっている。公募については東京都の制度としてはあるが、西東京市独自に教員の採用などを行うことは条件的に制約がある。各自治体の主たる任務は、一人ひとりの教員の個性や能力を大事にして配置後の育成が主旨だ。確保は都が主として行うことであり市では限界があるので、言葉としては「育成」が適切だと思う。

西原委員：

可能であれば「魅力ある人材を確保・育成」としてはどうか。確保とあれば、積極性があり未来のある言葉と感ずるので、含みとして残したほうがいいと思う。

橋本委員：

策定懇談会だからこそ教員の生の意見が出てきたことに重点を置いたほうがいいのではないだろうか。一般市民はそこまで読み取ることができないので、教員の思いを付け加えることによって、読み取れる人もいると思うので「確保と育成」がいいのではないか。

○堀内委員：

計画書の掲載に適しているかわからないが、「地元の大学などと連携して」といった具体的なことがあれば、育成していることは伝わると思う。

○羽豆座長：

具体的なものがあれば、市の実態を生かしながら、人物を確保し育成していくということで意味を理解してもらえらるだろう。

○須永副座長：

人物の前文に「総合的な人間力を備えた魅力ある」というヒューマンな表現があるので、文章の後半は事務局で検討してもらえれば、主旨としては変わらないと思う。

○事務局：

確保についてだが、東京都には各自治体独自で主幹教諭を公募する制度はあるが、その制度には様々な制約があり、必ず毎年実施できるとは限らない。したがって「確保」とするとできないことを計画書に記載してしまうことになる。文章に「指導力が必要であり」とあるが、指導力のある教員の確保が必要なことを十分承知したうえで、様々な制度制約のある中でも努力していくが、はっきりと言葉で表してしまうと実現できないものが出てくる可能性がある。必要な人材を確保することは東京都にも打診するが、確保の主たる実施は東京都であり、西東京市では育成という言葉で表したほうが適切で幅の広い捉え方ができると思う。

○羽豆座長：

ひとつの願いとして「人材を育成していくことが大切」としたい。

○事務局：

目次下の用語解説に関する説明文だが、「解説が必要な語には～」「～同じ語が～最初の語にのみ～」は、「語」としているが、「用語」としたほうが適切だろうか。

○羽豆座長：

「用語」に統一をしてほしい。

○渡辺委員：

目次の第4章と用語解説説明文に行間が少ないので、第4章のことと勘違いしてしまう。可能であれば行間をとり（用語解説について）とタイトルを入れてはどうか。

○羽豆座長：

第4章の下は「資料編」を入れ、そのあとに用語解説の説明文を入れてほしい。

○事務局：

調整したい。

第3章5（1）現状・課題の公民館、図書館の数表の数字が明朝体なので他ページと合わせゴシック体に修正する。

議題4 その他

計画書のレイアウトなどについて

ページ位置は端とし、数字はゴシック体、丸装飾とする。

委員より、表紙はイラストで、学校教育、家庭教育、社会教育をイメージしたものを希望する意見と、基本方針イメージ図も使えるのではないかという意見があった。この点については、事務局にて整理する。

事務局：

連絡事項

計画書案を2月開催の教育委員会で報告、3月に議案として提出

第14回の懇談会会議録案は各委員に郵送し、修正があれば事務局へ連絡

以上